

Book Fan Newsletter

発行：平成25年6月15日

編集：塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 12号)

書店員が選んだ

今月のおすすめ本



『ひまわりのおか（いのちのえほん）』

ひまわりをうえた八人のお母さんと葉方丹 / 文 松成真理子 / 絵 岩崎書店

東日本大震災の津波により、宮城県石巻市の大川小学校に通っていた子どもたちが大勢亡くなり、わが子を亡くしたお母さんたちが、子どもたちが避難しようとした丘にひまわりを植えました。ひまわりの成長に思いを重ね、わが子へ宛てた8人のお母さんたちの手紙をもとに創られた絵本ですが、親の深い愛情に胸が打たれ、震災を風化させてはいけない、一日も早い復興をと願う1冊です。

(神田堂 大塚さん)



『泣いた赤鬼』

浜田廣介 / 文 浦沢直樹 / 画 小学館

鬼でありながら人間と仲良くしたい赤鬼とその赤鬼のことを大切に考えてくれる青鬼。浜田廣介が書いた2人の友情のお話にあの浦沢直樹が挿し絵をつけました。漫画家ならではの構図でこのお話を盛り上げてくれます。そして訪れるラストへの流れは必見です。文章と文章の間、見開きで描かれる赤鬼の表情にきつと心が揺さぶられるはず。浦沢直樹のファンにもそうでない人にも読んでほしい絵本です。

(興文堂アイシティ店 福田さん)



『百年の手紙 日本人が遺したことば（岩波新書）』

梯久美子 / 著 岩波書店

本書は発売三か月にして歴代岩波新書の総売上9位にランクされ、グーグルには一万件を超える書き込みが寄せられています。手紙は個人の心情を綴るものですが、書かれた時代を鏡のように映し出します。本書は時代と格闘し、或いは翻弄されながら散っていった証言者の心の書です。百年・百通の手紙が切々と語りかけます。

(中島書店 中島さん)



『ランチのアッコちゃん』

柚木麻子 / 著 双葉社

アッコ女史こと黒川敦子部長に手作りのお弁当を褒められた私はアッコ女史とランチ交換をすることに。指定されて訪ねた店はあたたかな雰囲気、灰色だった私の毎日がだんだんと彩りを取り戻していく。おいしいランチのように心がほっこりするお話を、どうぞめしあがれ♪

(中島書店 百瀬さん)



『桔梗ヶ原のげんばのじょう狐』

はまみつを / 文 和田春奈 / 絵 郷土出版社

塩尻地域を代表する民話を文・絵ともに塩尻出身者が手がけた「信州・読み聞かせ民話絵本シリーズ」の第3弾。

～昔、桔梗ヶ原に住んでいた「げんばのじょう」と呼ばれる古狐。子牛ほどある大狐で、銀色の毛なみを光らせながら歩く姿は思わずおがみたくなるほど立派なものだったという～

毎年7月に行われる玄蕃まつりの主役とはどんな狐だったのか。今年のお祭りの前にぜひご家族で読んで欲しい一冊。

(丸文塩尻書店 金子さん)



今月のおすすめ本

『だまし絵の世界（しらべ図鑑マナペディア）』

北岡 明佳 / 監修 講談社

動いて見える絵、いろいろな姿に見える絵、見る角度をかえると違うものに変身してしまう絵…。この本には、目の錯覚の「ふしぎ」を使って楽しめる絵や写真がたくさんあつまられています。さあ、ページをめくって、ふしぎな世界を楽しんでください。

(児童書担当 青柳)



『オズの魔法使い（オズの魔法使いシリーズ）』

ライマン・フランク・ボーム / 著 宮坂 宏美 / 訳 復刊ドットコム

とても有名な「オズの魔法使い」。でも、その物語に続きがある事を知っていますか？ 全15巻におよぶこのシリーズは、どこかおかしい愉快な仲間たちが、オズの国での大冒険をくりひろげていく物語です。大人も子どもも楽しめる新装版で、現在11巻まで刊行中です。

(児童書担当 青山)



『赤毛のアン スクラップブック』

モンゴメリ / 作 E.R.エパリー / 編 川端 有子 / 編著・訳

生涯にわたり多くのスクラップブックを残したモンゴメリ。本書は、プリンスエドワード島ですごした時期に作られた2冊を元にしており、作品の源がわかる1冊になっています。

スクラップされた資料からは流行に敏感なモンゴメリのセンスを感じることができます。100年の歳月を経て初めて公開される赤毛のアンの世界をじっくりと楽しんでください。

(外国文学担当 北島)



『おーい! キソ会長（徳間文庫）』

柴村 仁 / 著 徳間書店

生徒会長執行部に所属する木曾副会長は、ビビりのくせに好奇心旺盛。そのため様々な事件に巻き込まれていく。真面目な人柄と面倒見のよさで、周りの人に助けられながら、難解な謎に挑む。木曾副会長に平穏な日々は訪れるのか？

(ヤングアダルト担当 中村)



『小澤征爾指揮者を語る（100年インタビュー）』

100年インタビュー制作班 / 編 PHP 研究所

2年ぶりにサイトウ・キネン・フェスティバルで指揮をする予定の小澤征爾さん。この本ではインタビュー形式で素顔の小澤征爾さんを知ることができます。単身で渡欧されたときの苦労話や、恩師・斎藤秀雄さんの教えなど本人の言葉で語られ、偉大な指揮者が身近に感じられます。

(芸術分野担当 林)



『人生に大切なことはすべて絵本から教わった 2（末盛千枝子ブックス）』

末盛 千枝子 / 著 現代企画室

あなたの心を掴んで離さない絵本はありますか？

困難の中で、ひとはけの希望、心の灯と成り得る絵本。震災後、子供達に絵本を届ける活動を通して、これまで抱いてきた思いを改めて強くした筆者が、自身の大切に思う本と、それを巡る様々な出会い、自らの半生を振り返ります。

(総記担当 平澤)

